

船橋市

『地域公共交通網形成計画』

の策定について

八千代エンジニアリング（株）



本日のご説明は・・・

- 『地域公共交通網形成計画』とは、
どのようなものか
- 計画策定に向けた、今後の進め方・予定
等について

●『地域公共交通網形成計画』とは、 どのようなものか。

3

■「地域公共交通網形成計画」とは…

- 「**地域公共交通の活性化及び再生に関する法律**」に基づく**法定計画**。
- 公共交通ネットワークを、一体的に形づくり、持続させることを目的に、**地域全体の公共交通のあり方**、市民・交通事業者・行政の**役割**を定め、地域にとって**望ましい姿**を示す、いわば**公共交通の“マスタープラン”**。

交通政策基本法の基本原則に則り、

- ①**地方公共団体**が中心となり、
 - ・日常生活等に必要不可欠な交通手段の確保等
 - ・まちづくりの観点からの交通施策の促進
 - ・関係者相互間の連携と協働の促進 等
- ②**まちづくりと連携**し、
- ③**面的な公共交通ネットワーク**を再構築することが求められる。

これを受けて…

国の基本方針に基づき、地方公共団体が交通事業者など地域の関係者と連携

しつつ、マスタープラン「**地域公共交通網形成計画**」

を策定をできる。

**地域公共交通の
マスタープラン**

…今回は、
こちらの計画です。

さらに、状況によっては…

《参考》交通事業者との合意の上で、地域公共交通再編事業を実施するため
の計画「**地域公共交通再編実施計画**」を策定できる。

…具体的な内容は、
実施計画で検討
(別途検討してもよい)

4

■「地域公共交通網形成計画」に記載する事項

- 「**網形成計画**」は、「地域にとって望ましい公共交通網の姿」を示す、**マスタープラン**（…**ビジョン+事業体系**の記載）。
協議会において、計画に関する議論を経て、**交通事業者等との協議**の上で策定。
- まちづくりと連携し、面的な公共交通ネットワークを再構築するために実施する**様々な事業（取り組み）**について**記載**。

（主な記載事項）

- ◆**地域の現状、公共交通の現状、上位・関連計画等**
- ◆**基本的な方針（コンセプト等）**
- ◆**計画の区域**
- ◆**計画期間**
- ◆**計画の目標**
- ◆**目標を達成するために行う事業・実施主体**
- ◆**達成状況の評価に関する事項**

（事業メニューの記載イメージ）

個々のメニューの「概要、参考イメージ、実施主体、スケジュール等」

取り組む事業メニューと、実施主体を記載します。

取り組むメニューの「体系」

メニューには、乗継ぎ環境や、利用意識の啓発、案内充実等のソフト施策も含まれます。

■「網形成計画」の留意点

- 国の手引き**による、網形成計画の**留意点（必要事項）**。
- 網形成計画は、特に本市全体のまちづくり等の「**地域戦略**」と連携し、一体的な取り組みとなるよう留意することが必要。

〔国の手引きによる網形成計画の“留意点（必要事項）”〕

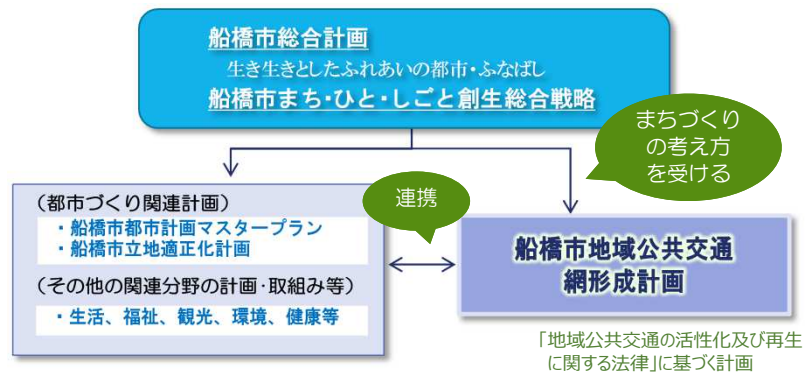
- 広域性**を確保する
- まちづくり、**観光振興等**の「**地域の戦略**」との一体性を確保する
- 地域の全体**を見渡した総合的な公共交通ネットワークを形成する
- 地域の特性に応じて**多様な交通サービス**の組み合わせを考える
- 地域住民**の協力を含む**関係者**の連携を図る
- 具体的で可能な限り**数値化した目標**を設ける

単一の交通手段や、箇所の計画ではなく、

市全体をみて、どのような課題に対し、どのような取り組みが必要かを見出します。

■本市における「網形成計画」の位置づけ等

- 船橋市の網形成計画は、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、本市の最上位計画「船橋市総合計画」や「船橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」等のまちづくりの考え方を受けるとともに、都市計画マスタープラン、立地適正化計画をはじめ関連計画等との連携を図った、本市全体の地域公共交通の今後の目標や取り組みの方向性を示す計画。



7

- 計画策定に向けた、今後の進め方・予定等について。

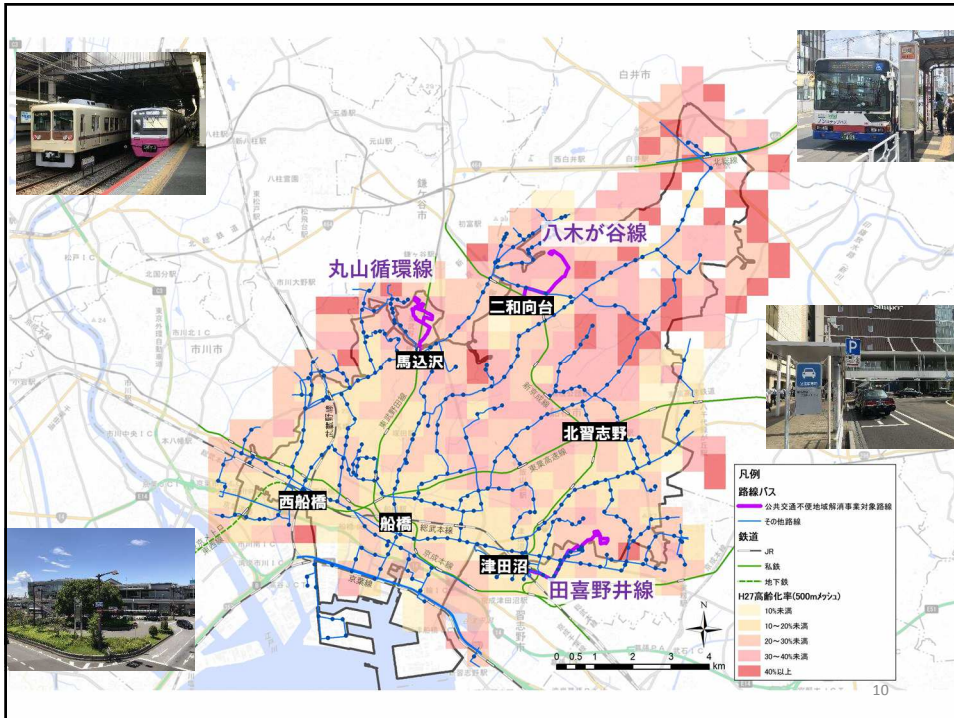
8

■ 計画の対象

- 網形成計画の対象地域は、**船橋市全域**。
- 本市には、**多様な公共交通**が運行しています。

船橋市の公共交通		
鉄道	JR東日本	総武線、武蔵野線、京葉線
	京成電鉄	京成本線
	東武鉄道	東武野田線（東武アーバンパークライン）
	新京成電鉄	新京成線
	東京メトロ	東西線
	北総鉄道	北総線
	東葉高速鉄道	東葉高速線
路線バス	船橋新京成バス	(鎌ヶ谷) 20路線・47系統、(習志野) 6路線・23系統 (丸山循環線、八木が谷線は、公共交通不便地域解消事業)
	京成バス	7路線・33系統 (田喜野井線は、公共交通不便地域解消事業)
	京成バスシステム	7路線・26系統
	ちばレインボーバス	4路線・12系統
	京成トランジットシステム	2路線・2系統
	平和交通	1路線・2系統
	その他、高速バス・深夜急行バス等	
タクシー	市内に、12社、約530台(千葉県タクシー協会会員)	
その他	高齢者支援協カバス(老人福祉センター、自動車学校・教習所の送迎バスの活用)や、種々の交通サービス等	

市内の多様な公共交通全体が計画の対象です。



■「網形成計画」の策定に向けた調査・検討の流れ

○「船橋市地域公共交通網形成計画」を3か年をかけて策定

令和
元年度

- 船橋市の**地域概況**の整理
- 船橋市の**公共交通の現状**の整理
- 市民・公共交通**利用者の実態**調査
- 問題点・課題の整理
- 船橋市の公共交通に関する課題及び方針案の整理

現状を十分に把握し、課題・方向性を見出します。

令和
2年度

- 今後考えられる**取組みメニューの検討**
- 公共交通事業者・関係者等への**ヒアリング**
- 補完的なデータ整理・調査等
- 計画骨子案**の整理
- 公共交通事業者・関係者等との**意見交換・調整**
- 地区住民との**意見交換**等
- 計画素案（記述内容）**の整理

事業者・関係者・住民等の皆さまとのやり取りを重ね、必要な取組みメニューを整理していきます。

令和
3年度

- 計画素案（記述内容）修正案の整理
- パブリックコメント
- 計画書の取りまとめ**
- 今後の取組みに向けた公共交通事業者・関係者等との準備・調整等
- 今後の取組みに向けた地区住民との準備・調整等

「計画書」を取りまとめ、今後の取組みに向けて準備を始めます。

11

■今年度の調査・検討の視点

【この計画策定で目指すことのイメージ】

公共交通に関する課題を解決し、すぐしやすい船橋市の移動環境を通して、**居住や来訪で選ばれる船橋市の実現への寄与**することが計画の目的。
住みやすく、移動しやすく、選ばれる船橋市の実現を目指す。

そのため、まず、**現状を十分に把握した上で、課題を抽出することが必要。**

【調査・検討の視点】

- ① **都市のインフラ、本市の将来像**の現状と課題
 - ・道路、結節点、公共交通網の現状と課題、今後のあり方
 - ・市として目指す拠点や居住等のあり方
- ② **公共交通の需要面**の実態と課題
 - ・市民の移動ニーズや公共交通利用状況
- ③ **公共交通の供給面**の実態と課題
 - ・交通事業者による公共交通網、市民協働や市の施策としての公共交通網

今年度の調査で把握します



12

■今年度の実施内容

○今年度は「船橋市地域公共交通網形成計画」策定に向けた**基礎調査**を実施

◇船橋市の概況把握

◇船橋市の公共交通の現状把握

■基礎情報の整理

- ・地域の現状
- ・公共交通の現状
- ・上位・関連計画の整理

資料・データ等から現状を把握します。

◇市民・公共交通利用客の実態調査

■移動実態調査・ニーズ調査

- ・市民へのアンケート
- ・公共交通の利用客へのアンケート
- ・地域懇談会

市民・公共交通利用客を対象としたアンケート等を行います。

◇問題点・課題の整理

- ・調査結果、問題点・課題を整理

◇船橋市の公共交通に関する課題及び方針案の整理

■課題解決の方向性・考え方及び留意点の整理

- ・調査結果、課題の整理を踏まえ、地域公共交通の方向性を検討

以上から、課題・方向性を整理します。

令和
元年度

13

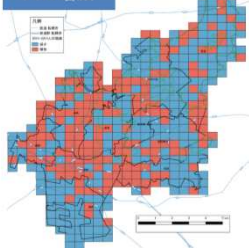
■調査分析方法

〔現状に関する基礎情報の整理〕

○船橋市の地域の現状

- ・都市情報、交通情報を現状、将来に分けて把握

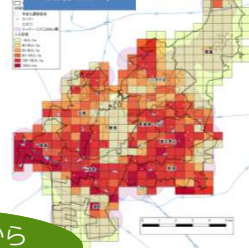
人口増減



バス本数



施設分布



種々のデータ等から整理・分析します。

○公共交通の現状

- ・路線網のサービス状況と利用、収支状況を把握

○上位・関連計画

- ・拠点形成など将来都市像、関連分野等との関連を整理

○公共交通事業者へのヒアリング

- ・交通事業者の利用実態や運行上での問題、運営状況等の把握



関連分野のまちづくりとの関係を整理します。

供給側の現状を把握します。

14

■ 調査分析方法

〔移動実態調査、ニーズ調査〕

これらの調査を予定しています。

○市民へのアンケート調査

- 市民の移動実態（移動手段、目的、頻度、区間）やニーズを把握

調査概要（予定）

- 調査手法：郵送配布・郵送回収
- 対象地域：市内全域
- 対象者の抽出：市内の各地域から同数を無作為抽出



○公共交通利用者へのアンケート調査

- バス等の利用者の移動実態やニーズを把握

調査概要（予定）

- 調査手法：手渡し配布・郵送回収
- 配布箇所：主要駅や主要なバス停留所を想定（今後協議の上決定）
- 対象者：主にバス利用者 ※市民アンケート調査の補完として実施

○地域の状況・意見の把握

- 収集した情報及びアンケート等により、公共交通に関し課題がある地区を抽出し、意見を把握・交換



【例】

15

■ 問題点の抽出・分析、課題の整理

市の将来像の整理

- 「生き生きとしたふれあい都市・ふなばし」（イメージ）
- 公共交通への市民ニーズに応じた利便性向上を図る

（イメージ）

市の将来像と現状・ニーズを照らし合わせて、課題・方向性を見出します。

現状、ニーズの整理

①地域概況

- 人口は今後しばらく増加、鉄道沿線は人口増が続くがそれ以外は減少傾向
- 市内全域に主要施設が点在するが、特に船橋駅周辺に周辺施設が集中 等

②公共交通の運行状況、利用状況

- 鉄道は利用増、バスは利用減が続いている
- 市内に交通不便地域が存在し、バスの運行本数が少ない地域も残っている
- 鉄道駅が多く立地するが、駅前広場等の交通結節点機能が貧弱な駅が多い 等

③市民のニーズ

- 渋滞によるバスの遅れがあり、時間が読めないため利用がづらい
- 縦横線を跨ぐバス移動が困難
- 駅から離れた施設が多く、車を持たない方、駅沿線居住者以外の移動が困難 等（現在の想定）

課題・方向性の整理

①人口分布の変遷に応じた路線バスの再配置（運行本数、ルート等の必要性）

- 路線バス沿線が人口減少傾向の中、ニーズに応じた路線の見直しが必要 等

②市民や利用者へのバスの発着時間、遅れ時間など情報提供充実の必要性

- 道路状況の早期改善が困難である中、バスの運行情報を市民や利用者適切に示すことが必要 等

③交通不便地域での移動手段確保の必要性

- 交通不便地域においては、地域住民が望む移動手段を把握し、協働での維持に向けた取組みが必要 等

④交通結節点の機能向上の必要性

- 駅前広場を有する鉄道駅に限られており、交通手段間の連携に向け、結節点機能の向上が必要 等

16

■ 今後のスケジュール

○今年度のスケジュールは、概ね下記を想定。

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 基礎情報の整理	→					
(2) 移動実態調査、(3) ニーズ調査	(市庁アンケート) →	(公共交通利用者アンケート) →	(地域の状況・意見の把握) →			※準備期間含む
(4) 問題点・課題の整理			(調査結果を踏まえ、問題点・課題を整理) →			
(5) 課題解決の方向性、 考え方及び留意点の整理		(調査結果、課題の整理を踏まえ、地域公共交通の方向性を検討) →				
(6) 協議会開催	●					●
(7) 今年度のとりまとめ						→

17

ご説明は以上です。
 ありがとうございました。
 今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。

18